

平成 25 年度

事業報告書

平成 26 年

I. 庶務事項

1. 理事会及び評議員会の開催

・平成 25 年 5 月 21 日 (火) 午前 11 時より第 88 回理事会を五島美術館本館にて開催、下記の議案を審議可決した。

(イ) 平成 24 年度事業報告並びに収支決算等について

(ロ) 定時評議員会の招集について

・平成 25 年 6 月 5 日 (水) 午前 11 時より第 85 回評議員会を五島美術館別館にて開催、下記の議案を審議可決した。

(イ) 平成 24 年度事業報告並びに収支決算等について

・平成 26 年 3 月 19 日 (水) 午前 11 時より第 89 回理事会を五島美術館本館にて開催、下記の議案を審議可決した。

(イ) 平成 26 年度事業計画並びに収支予算等について

(ロ) 平成 26 年度事業計画並びに収支予算等の評議員会開催及び招集について

・平成 26 年度事業計画並びに収支予算案等について、平成 26 年 3 月 19 日に配布し、評議員全員の同意を得たので、最終確認が得られた同年 3 月 22 日付にて、第 86 回評議員会として同案を可決した。

2. 官公庁への届出等

・平成 25 年 7 月 1 日 平成 24 年度事業報告書並びに収支計算書等の提出 …………… 内閣府
・平成 26 年 3 月 28 日 平成 26 年度事業計画書並びに収支予算書等の提出 …………… 内閣府

3. 寄付受領

・東京急行電鉄株式会社	37,000,000 円
・東急テクノシステム株式会社	9,000,000 円
・東急カード株式会社	3,000,000 円
・東急軌道工業株式会社	2,800,000 円
・財団法人東急弘潤会	45,381,735 円
・東急バス株式会社	7,000,000 円
・イツ・コム株式会社	20,000,000 円
合計	124,181,735 円

- ・築島絢(築島裕氏夫人) ……典籍「弁正論 卷第三」保安四年写 一軸・
「大毗盧遮那経疏 卷第十六・十七」寛治二年写 二帖 計 2 点(寄贈日 平成 25 年 4 月 17 日)
- ・石川雄子 ……御筆 天平筆(複製) 計 1 件(寄贈日 平成 26 年 2 月 10 日)
- ・太刀川恒夫…刀 小林伊勢守国輝 寛文十三年八月日 計 1 件(寄贈日 平成 26 年 2 月 13 日)

4. 補助金受領

・南浦紹明墨跡修理補助金	
(文化庁)	2,032,000 円
(東京都)	915,000 円
合計	2,947,000 円
	(未収金計上)

5. 受賞

・グッドデザイン賞

平成 22 年 11 月から平成 24 年 10 月にかけて行った改修工事に関して、既存の吉田五十八によるデザインを継承しながら館内設備を刷新、新旧が融和した改修が評価され、公益財団法人日本デザイン振興会が主催する「2013 年度グッドデザイン・ベスト 100」に選ばれた。

6. その他

・世田谷区文化財調査報告集(23)

平成 24 年 4 月から平成 25 年 9 月にかけて行った「古経楼」及び「富士見亭」の改修工事の際し、青柳憲昌氏(現立命館大学講師)、株式会社建文・建築文化研究所の協力により調査された当該建築物に関する建築史調査報告書が、世田谷区教育委員会により平成 26 年 3 月編集・発行された。

Ⅱ. 主なる事業活動

[1] 五島美術館事業

1. 展示事業

回 覧覧会名	期間	開館日数
1 [館蔵]春の優品展—和歌の世界—	平成 25 年 4 月 6 日[土]—5 月 6 日[月]	27 日
2 [館蔵]近代の日本画展	平成 25 年 5 月 11 日[土]—6 月 16 日[日]	32 日
3 [春敬記念書道文庫創立 30 周年記念特別展]日本の名蹟—和様の書の変遷—	平成 25 年 6 月 22 日[土]—7 月 28 日[日]	32 日
4 [館蔵]秋の優品展—禅宗の美—	平成 25 年 9 月 13 日[金]—10 月 20 日[日]	33 日
5 [特別展]光悦—桃山の クラシック 古典 —	平成 25 年 10 月 26 日[土]—12 月 1 日[日]	32 日
6 [館蔵]茶道具取合せ展	平成 25 年 12 月 7 日[土]—平成 26 年 2 月 16 日[日]	52 日
7 [館蔵]中国の陶芸展	平成 26 年 2 月 22 日[土]—3 月 30 日[日]	32 日

合計 240 日

2. 特別展

(1) [春敬記念書道文庫創立 30 周年記念特別展]日本の名蹟—和様の書の変遷—

・期間＝平成 25 年 6 月 22 日[土]—7 月 28 日[日]

・主催＝五島美術館・一般社団法人書芸文化院

・特別鑑賞会・レセプション＝平成 25 年 6 月 21 日[金]……………出席者 173 名

・講演会＝「春敬記念書道文庫の逸品」池田和臣氏(中央大学教授)

平成 25 年 7 月 7 日[日]……………聴講者 162 名

[同時開催個展] 滝口和男展「陶」—五島美術館庭園の四季と共生が—

・期間＝平成 25 年 6 月 22 日[土]—平成 26 年 6 月 22 日[日]

・共催＝五島記念文化財団

・開催場所＝五島美術館庭園内

(2) [特別展]光悦—桃山の クラシック 古典 —

・期間＝平成 25 年 10 月 26 日[土]—12 月 1 日[日]

・主催＝五島美術館

・特別鑑賞会・レセプション＝平成 25 年 10 月 25 日[金]……………出席者 169 名

・講演会＝「光悦茶碗」樂吉左衛門氏(樂美術館館長)

平成 25 年 10 月 26 日[土]……………聴講者 246 名

・講演会＝「光悦と漆芸—その技法と造形美」内田篤呉氏(MOA 美術館副館長)

平成 25 年 11 月 3 日[祝]……………聴講者 154 名

- ・講演会＝「光悦―上層町衆としての素顔」中村修也氏（文教大学教授）
平成 25 年 11 月 10 日〔日〕……………聴講者 213 名
- ・講演会＝「光悦芸術―作品は何を語るのか」河野元昭氏（秋田県立近代美術館館長）
平成 25 年 11 月 23 日〔祝〕……………聴講者 216 名

3. 出版物

- (1) 『光悦―桃山の ^{クラシック} 古典―』
・判型＝A4 判 ・発行日＝平成 25 年 10 月 26 日 ・編集＝五島美術館・大東急記念文庫学芸部
・発行＝公益財団法人五島美術館 ・頁数＝240 頁（カラー 184 頁、図版 147 点所収）
- (2) 『五島美術館研究紀要』第 2 号
・判型＝A4 判 ・発行日＝平成 26 年 3 月 31 日 ・編集＝五島美術館・大東急記念文庫学芸部
・発行＝公益財団法人五島美術館

4. 美術品の他所への出品

- ・愛知県陶磁資料館……………「青磁桃型香合」／他計 3 件
「茶人のあそび心 形物香合番付の世界」（期間＝平成 25 年 4 月 20 日～5 月 26 日）
- ・愛知県陶磁美術館……………重要文化財「鼠志野茶碗 銘 峯紅葉」／他計 4 件
「―日本・中国・韓国― 陶磁の名品、ここに集う」（期間＝平成 25 年 6 月 1 日～7 月 28 日）
- ・山種美術館……………「焚火 川合玉堂筆」／計 1 件
「川合玉堂―日本のふるさと・日本のこころ―」（期間＝平成 25 年 6 月 8 日～8 月 4 日）
- ・東京国立博物館……………「鹿下絵和歌巻断簡 本阿弥光悦筆 伝 俵屋宗達下絵」／他計 6 件
「和様の書」（期間＝平成 25 年 7 月 13 日～9 月 8 日）
- ・MOA 美術館……………「伊勢物語色紙 富士山図 伝 俵屋宗達筆」／他計 9 件
「描かれた富士」（期間＝平成 25 年 7 月 26 日～8 月 20 日）
- ・MIHO MUSEUM……………「二月堂練行衆盤」／計 1 件
「朱漆「根来」―中世に咲いた華」（期間＝平成 25 年 9 月 1 日～12 月 15 日）
- ・徳川美術館……………重要文化財「上疊本三十六歌仙絵 紀貫之像」／他計 6 件
「歌仙―王朝歌人への憧れ―」（期間＝平成 25 年 9 月 28 日～11 月 4 日）
- ・石水博物館……………重要文化財「古伊賀水指 銘 破袋」／計 1 件
「川喜田半泥子がみた名品」（期間＝平成 25 年 10 月 4 日～11 月 24 日）
- ・横浜美術館……………「夕風 小川芋銭筆」／他計 4 件
「横山大観展 良き師、良き友―紫紅、未醒、芋銭、溪仙」（期間＝平成 25 年 10 月 5 日～11 月 24 日）
- ・岐阜県美術館……………「春峡 川合玉堂筆」／他計 1 件
「素顔の玉堂―川合玉堂を支えた人々―」（期間＝平成 25 年 10 月 20 日～12 月 20 日）
- ・根津美術館……………重要美術品「井戸茶碗 銘 美濃」／他計 3 件
「井戸茶碗 戦国武将が憧れたうつわ」（期間＝平成 25 年 11 月 2 日～12 月 15 日）

- ・サントリー美術館……………重要文化財「迦陵頻伽紋葵花形鏡」／他計2件
「天上の舞 飛天之美」(期間＝平成25年11月23日～平成26年1月13日)
- ・横浜美術館……………「臨済 下村観山筆」／他計3件
「下村観山展」(期間＝平成25年12月7日～平成26年2月11日)

※平成24年度「美術品の他所への出品」に記載しました茶道資料館への作品出品の事実はなく、写真利用許可のみの誤記でした。

5. 入館者数

*単位は人

	有料	無料	計	入園者	合計	開館日	一日平均
1 [館蔵]春の優品展—和歌の世界—〈平成25年4月6日[土]—5月6日[月]〉	8,454	452	8,906	647	9,553	27	354
2 [館蔵]近代の日本画展〈平成25年5月11日[土]—6月16日[日]〉	12,610	549	13,159	383	13,542	32	423
3 [春敬記念書道文庫創立30周年記念特別展]日本の名蹟—和様の書の変遷— 〈平成25年6月22日[土]—7月28日[日]〉	8,841	3,502	12,343	384	12,727	32	398
4 [館蔵]秋の優品展—禅宗の美—〈平成25年9月13日[金]—10月20日[日]〉	5,504	365	5,869	274	6,143	33	186
5 [特別展]光悦—桃山の古典—〈平成25年10月26日[土]—12月1日[日]〉	27,042	2,506	29,548	389	29,937	32	936
6 [館蔵]茶道具取合せ展〈平成25年12月7日[土]—平成26年2月16日[日]〉	8,796	967	9,763	251	10,014	52	193
7 [館蔵]中国の陶芸展〈平成26年2月22日[土]—3月30日[日]〉	4,687	290	4,977	187	5,164	32	161
合計	75,934	8,631	84,565	2,515	87,080	240	363

6. 調査・研究

- ・特別展および企画展に際して、館外所蔵作品の調査を行った。
- ・改修後の展示設備をはじめとする館内設備の調査とデータ蓄積を継続した。
- ・所蔵する図書を整理し、情報の入力を継続した。また宇野雪村旧蔵書籍など貴重書のメンテナンスを行った。
- ・以上の成果の一部については、最新の研究紀要にて報告した。

7. 講堂・茶室などの施設利用

(1) 本館集会室

ギャラリートーク(平成26年2月27日)、当館主催「美の友会月例美術講座」(平成26年2月8日他)、当館主催「こども美術講座」(平成25年4月14日他)、当館主催「陶芸講座」参加者作品展覧(平成

25年6月1日・2日、9月28日・29日、平成26年1月25日・26日)、各種団体などへの解説、美術品写真撮影、博物館学講習会、館内諸会議などに使用(利用詳細は別項「9.普及事業(1)(2)(4)(6)」 「10.博物館実習生の受け入れ」)。

(2) 別館講堂

当館主催「講演会」(平成25年7月7日他)、ギャラリートーク(平成25年4月10日他)、当館主催「美の友会月例美術講座」(毎月1～3回)、当館主催「茶の友会茶会」の道具説明会(平成25年11月14日～17日、平成26年3月13日～16日)、当館主催ミュージアム・コンサート(平成25年7月25日、9月18日)、東急電鉄株式会社主催「キッズプログラム」(平成26年1月13日)、茶の湯文化学会例会(平成25年9月28日、平成26年1月25日)などに使用(利用詳細は別項「9.普及事業(1)(2)(3)(5)(7)(8)」)。

(3) 第二講堂

当館主催「陶芸講座」(平成25年6月1日・2日、9月28日・29日、平成26年1月25日・26日)、当館主催「茶の友会茶会」の点心席(平成25年11月14日～17日、平成26年3月13日～16日)、その他一般の茶会の点心席などに使用(利用詳細は別項「9.普及事業(5)(6)」)。

(4) 茶室

当館主催「茶の友会茶会」(平成25年11月14日～17日、平成26年3月13日～16日)、東急電鉄株式会社主催「キッズプログラム」(平成26年1月13日)、その他一般の茶会などに使用(利用詳細は別項「9.普及事業(2)(5)」)。

8. 友の会(特別会員制度)

美術教育普及のため、開館以来友の会制度を設け、今日に至っている。本年度の利用状況は次のとおり(平成26年3月31日現在)。

(1) 美の友会(定員制度無し・入会した日より1年間有効)

- ・会員数＝583名
- ・年会費＝4,000円
- ・展覧会(特別展を含む)を何度でも鑑賞可能。
- ・特別展の講演会を無料で聴講可能。
- ・「美の友会月例美術講座」の開催(聴講無料)。
- ・陶芸講座の開催(年3回の予定)。
- ・展覧会や催物の案内を発送。

(2) 茶の友会(定員制度・毎年度4月1日から3月31日まで有効)

- ・会員数＝1,500名
- ・会費＝5,000円

- ・展覧会(特別展を含む)を何度でも鑑賞可能。
- ・特別展の講演会を無料で聴講可能。
- ・「茶の友会茶会」の開催(年2回・ただし、1回につき実費10,000円程度必要)。
- ・展覧会や催物の案内を発送。

9. 普及事業

(1) ギャラリートーク(展示解説)―入館者を対象にして実施

・[館蔵]春の優品展―和歌の世界―

「仮名の書の見方」平成25年4月10日、4月24日(別館講堂)……………参加者計199名

「源氏物語絵巻について」平成25年4月28日、5月1日・6日(別館講堂)……………計467名

・[館蔵]近代の日本画展

「近代日本画の世界」平成25年5月23日、6月13日(別館講堂)……………計174名

・[春敬記念書道文庫創立30周年記念特別展]日本の名蹟―和様の書の変遷―

「仮名の美について」平成25年6月27日、7月18日(別館講堂)……………計364名

・[館蔵]秋の優品展―禅宗の美―

「墨跡の魅力」平成25年9月25日、10月8日(別館講堂)……………計90名

「紫式部日記絵巻について」平成25年10月17日、10月20日(別館講堂)……………計235名

・[特別展]光悦―桃山の古典―

「光悦と陶芸」平成25年11月1日(別館講堂)……………84名

「光悦と漆芸」平成25年11月7日(別館講堂)……………86名

「光悦と出版」平成25年11月21日(別館講堂)……………171名

「光悦と書跡」平成25年11月28日(別館講堂)……………265名

・[館蔵]茶道具取合せ展

「古経楼と茶の湯」平成25年12月11日、平成26年1月9日(別館講堂)……………計111名

「名物裂について」平成25年12月18日、平成26年1月24日、2月13日(別館講堂)
……………計259名

・[館蔵]中国の陶芸展

「中国陶磁について」平成26年2月27日(本館集会室)、3月20日(別館講堂)……………計70名

(2) 青少年向け普及講座

①こども美術講座―小中学生を対象にして美術や日本文化について解説および体験学習を実施

「和歌と書道」平成25年4月14日(本館集会室)……………参加者計10名[こども0／大人10]

「王朝絵巻の世界」平成25年5月4日(本館集会室)……………計3名[こども1／大人2]

「日本画を知ろう」平成25年6月9日(別館講堂)……………計32名[こども15／大人17]

「いつ仮名はできたか」平成25年7月14日(本館集会室)……………計32名[こども15／大人17]

「絵巻の詞書とは！」平成25年9月15日(本館集会室)……………計2名[こども1／大人1]

「王朝絵巻の世界」平成25年10月14日(本館集会室)……………計2名[こども1／大人1]

②東急電鉄株式会社主催「キッズプログラム」

平成 26 年 1 月 13 日「美術館の茶室で抹茶を飲んでみよう！」(別館講堂・茶室) …… 計 16 名

③小・中学校への出張講義

・世田谷区立給田小学校

平成 26 年 2 月 13 日 「日本絵画を知ろう」……………6 年生約 120 名

・世田谷区立東大原小学校

平成 26 年 3 月 10 日 「絵巻の世界」……………6 年生約 50 名

(3) 講演会—入館者を対象にして実施

[春敬記念書道文庫創立 30 周年記念特別展] 日本の名蹟—和様の書の変遷—

・演題＝「春敬記念書道文庫の逸品」 講師＝池田和臣氏(中央大学教授)

平成 25 年 7 月 7 日[日]……………聴講者 162 名

[特別展] 光悦—桃山の^{クラシック}古典—

・演題＝「光悦茶碗」 講師＝樂吉左衛門氏(樂美術館館長)

平成 25 年 10 月 26 日[土]……………聴講者 246 名

・演題＝「光悦と漆芸—その技法と造形美」 講師＝内田篤呉氏(MOA 美術館副館長)

平成 25 年 11 月 3 日[祝]……………聴講者 154 名

・演題＝「光悦—上層町衆としての素顔」 講師＝中村修也氏(文教大学教授)

平成 25 年 11 月 10 日[日]……………聴講者 213 名

・演題＝「光悦芸術—作品は何を語るのか」 講師＝河野元昭氏(秋田県立近代美術館館長)

平成 25 年 11 月 23 日[祝]……………聴講者 216 名

(4) 団体見学および団体説明会

[館蔵] 春の優品展—和歌の世界—……………計 6 団体・計 203 名

[館蔵] 近代の日本画展……………計 5 団体・計 129 名

[春敬記念書道文庫創立 30 周年記念特別展] 日本の名蹟—和様の書の変遷—

……………計 4 団体・計 147 名

[館蔵] 秋の優品展—禅宗の美—……………計 4 団体・計 100 名

[特別展] 光悦—桃山の古典—……………計 4 団体・計 114 名

[館蔵] 茶道具取合せ展……………計 3 団体・計 166 名

[館蔵] 中国の陶芸展……………計 1 団体・計 23 名

総計＝27 団体・882 名

(5) 茶会—茶の友会会員を対象にして実施

・第 1 回秋季茶会＝平成 25 年 11 月 14 日、15 日、16 日、17 日(4 日間) ……参加者計 772 名

・第2回春季茶会＝平成26年3月13日、14日、15日、16日(4日間)……………参加者計795名

＊上記茶会に使用した美術品について学芸員が解説した。

(6) 陶芸教室－美の友・茶の友会会員を対象にして実施

＊指導＝弘法窯スタッフ

下記の通り、当館第二講堂において陶芸講座を開催した。当日、参加者は形造りから絵付けまでを行って終了(一日教室)。後日、学芸部が岐阜県可児市の弘法窯の陶房まで輸送して、焼成。また、電動ろくろ器を使用して制作する「中級編」も同時開催。

・第1回＝平成25年6月1日・2日「志野焼・越前風自然釉焼締陶器」……………参加者計67名

・第2回＝平成25年9月28日・29日「織部焼・越前風自然釉焼締陶器」……………計58名

・第3回＝平成26年1月25日・26日「志野焼・越前風自然釉焼締陶器」……………計55名

※平成25年5月22日、永きにわたり陶芸教室をご指導頂いた月村正比古先生が逝去され、引き続き月村先生が主催されていた弘法窯のスタッフに指導を依頼した。

(7) 美の友会月例美術講座－美の友会会員を対象にして実施

美の友会会員を対象に下記の講座(各月1～3回)を開催した。各回とも一貫したテーマに即した主題を掲げ、五島美術館・大東急記念文庫の所蔵品を中心にパワーポイントを使用してわかりやすい講座を行なった。

・漆芸鑑賞シリーズⅢ「漆芸の技法」

担当＝五島美術館学芸部 福島 修

第1回 平成25年4月6日(土)「漆の基本」……………聴講者56名

第2回 5月11日(土)「塗る／描く」……………56名

第3回 6月8日(土)「彫る／貼る」……………49名

第4回 7月6日(土)「蒔く／研ぐ」……………41名

・染織鑑賞シリーズⅨ「茶の湯の裂」

担当＝五島美術館学芸部 佐藤留実

第1回 平成25年4月13日(土)「茶の湯の裂」……………聴講者106名

第2回 5月18日(土)「茶会記から考える表具裂」……………91名

第3回 6月15日(土)「金襴―始まりは禅?」……………91名

第4回 7月13日(土)「緞子・間道―茶人好み」……………89名

第5回 9月14日(土)「唐物・和物茶入の仕覆」……………93名

第6回 10月12日(土)「名物裂の逸話―吉野間道他」……………73名

第7回 12月14日(土)「名物裂手鑑の世界」……………66名

第8回 平成26年1月18日(土)「裂簞笥とは?」……………72名

第9回 2月8日(土)「亭主が楽しむ裂―包み裂・御物袋」……………12名

第10回 3月8日(土)「更紗は名物裂?」……………74名

※第9回は大雪により参加者少数のため、本館集会室で開催した。

・特別展鑑賞シリーズ「光悦への道」

- 第1回 平成25年4月20日(土)「現代人に愛される光悦の陶芸」……………聴講者 83名
 担当＝五島美術館学芸部 砂澤祐子
- 第2回 5月25日(土)「手紙に見る光悦芸術」……………76名
 担当＝五島美術館学芸部 名児耶 明
- 第3回 6月22日(土)「出版文化と光悦」……………75名
 担当＝大東急記念文庫学芸部 村木敬子
- 第4回 7月20日(土)「光悦蒔絵とは何か」……………72名
 担当＝五島美術館学芸部 福島 修

・書跡鑑賞シリーズⅧ「初期古筆の鑑賞」

担当＝五島美術館学芸部 名児耶 明

- 第1回 平成25年10月5日(土)「継色紙」……………聴講者 111名
- 第2回 12月7日(土)「高野切第一種」……………91名
- 第3回 平成26年1月11日(土)「升色紙」……………81名
- 第4回 2月1日(土)「古今集切ほか」……………96名
- 第5回 3月1日(土)「重之集」……………78名

・漆芸鑑賞シリーズⅣ「存星クロニクル」

担当＝五島美術館学芸部 福島 修

- 第1回 平成25年12月21日(土)「噛み合わない定義」……………聴講者 35名
- 第2回 平成26年2月15日(土)「名物の存星」……………11名
- 第3回 3月22日(土)「意味の変化とその背景」……………40名

※第2回は大雪により参加者少数のため、本館集会室で開催した。

(8) ミュージアム・コンサート入館者を対象にして実施

・NHK 交響楽団メンバーによる弦楽四重奏演奏会＝平成25年7月25日(木)

1st Violin＝白井篤／2nd Violin＝山口裕之／Viola＝小野聡／V.Cello＝山内俊輔 (敬称略)

プログラム: ハイドン 弦楽四重奏曲第78番変ロ長調 Op.76-4 Hob.Ⅲ-78 日の出

ヴェルディ 弦楽四重奏曲ホ短調

ベートーヴェン 弦楽四重奏曲第8番ホ短調 Op.59-2 ラズモフスキー第2番

入場料＝3500円(友の会 3000円) 予約制……………参加者 189名

・長唄演奏会一和のころを聴く＝平成25年9月18日(水)

三味線＝杵屋五三魅、杵屋五三助、東音 村尾慎三、杵屋五助／唄＝杵屋六響、東音 半田昌恵、東音 半田綾子、東音 小山孝恵、杵屋喜寛／囃子＝望月秀幸、望月左太寿郎、橘内幹、望月洸太郎／笛＝福原寛 (敬称略)

プログラム: 舌出し三番叟 賤芋環 大望月

後援＝世田谷区

入場料＝3500円(友の会 3000円) 予約制……………参加者 133名

(9) 美術品の写真掲載・利用

美術の教育普及の観点から、各種の美術図書やビデオ・テレビ番組などに、その内容に検討を加えた上で、当館所蔵の美術品の撮影および写真掲載使用を許可した(平成25年度は187件のべ322点)。

(10) 特別閲覧

- ・笠岡市教育委員会(1名:平成25年5月25日)……………鳳紋鏡 計1件
- ・愛知県立芸術大学(1名:平成25年6月4日)……………粉引酢次茶碗 銘 呉竹他 計6件
- ・袖ヶ浦市郷土博物館(1名:平成25年6月18日)……………重要文化財 画紋帯仏獣鏡他 計2件
- ・MOA美術館(4名:平成25年6月22日)……………端溪紫石蘭亭硯(宇野雪村コレクション)他 計10件
- ・京都大学人文科学研究所(1名:平成25年7月27日)……………集沙門不応拜俗等事卷第二他 計2件
- ・東京国立博物館(1名:平成25年9月3日)……………熊川茶碗 銘 千歳 及び付属 計1件
- ・MIHO MUSEUM(1名:平成25年9月6日)……………伯庵茶碗 銘 冬木 及び付属他 計3件
- ・宮内庁書陵部(1名:平成25年11月26日)……………獣形鏡(五獣)他 計3件
- ・宮内庁書陵部(1名:平成26年1月19日)……………重要美術品 七鈴仏獣鏡 計1件
- ・ギャラリー竹柳堂(3名:平成26年3月7日)……………魚形佩砵他 計4件
- ・鶴見大学文学部(2名:平成26年3月7日)……………重要文化財 大手鑑「筆陣毫戦」 計1件
- ・京都文化博物館(1名:平成26年3月19日)……………重要文化財 駿牛図断簡 計1件

10. 博物館実習生の受け入れ

下記の通り、博物館法施行規則第1条で定める学芸員資格取得のための学生の博物館実習を当館の基準の下に受け入れ、その指導を行った(団体研修3大学232名、実習生3大学3名)。

- ・期日＝平成25年4月27日・5月18日・10月12日

実習生＝立教大学博物館実習生(団体研修)……………計66名

- ・期日＝平成25年6月8日・6月22日・11月30日・12月21日

実習生＝東京学芸大学博物館実習生(団体研修)……………計130名

- ・期日＝平成25年9月13日・9月20日

実習生＝慶應大学博物館実習生(団体研修)……………計36名

- ・期間＝平成25年11月6日(水)～11月19日(火) 計12日間

実習生＝実践女子大学 文学部 美学美術史学科……………1名

学習院大学 文学部 日本語日本文学科……………1名

日本女子大学 文学部 史学科……………1名

11. 美術品の保存・補修

- (1) 蔵品のうちから、特に傷みの著しかった「重要文化財 南浦紹明墨跡」については、修理先・修理方法に慎重な検討を加えた上で、本体の修理を行った。平成25年度は、本修理に3,696,800円費やされたが、国から2,032,000円、東京都から915,000円の補助を受けた。
- (2) 作品に付属する貴重な17、18世紀の更紗包裂(風呂敷)など計6件を修理した。

(3) 刀剣保存のため傷みの生じた白鞘の調査を行い、修理方針を検討した。

12. その他の協力事業および会議等への派遣

(1) 美術資料収集評価委員会へ学芸員を派遣(東京国立博物館1回、国立歴史博物館1回、九州国立博物館3回)。

(2) 美術資料買取協議会へ派遣(九州国立博物館2回)。

(3) 文化庁登録美術品調査研究協力者会議に学芸員を派遣(平成25年6月7日)。

(4) 世田谷区第2期文化・芸術振興計画検討委員会委員として学芸員を派遣(計3回)。

(5) ICOM リオ大会に東京都博物館協議会の依頼により職員1名を派遣(平成25年8月10日～19日)。

(6) 円覚寺の依頼により「宝物風入れ」の展示・撤去に学芸員を派遣(平成25年11月1日、4日)。

(7) 東京学芸大学の依頼により、学芸員を博物館学および同実習の非常勤講師として派遣。

(8) 東京藝術大学の依頼により、学芸員を博物館実習および集中講義の講師として派遣。

(9) 清泉女子大学の依頼により、学芸員を工芸史の非常勤講師として派遣。

(10) 神奈川県立総合教育センターの依頼により、学芸員を「芸術(書道)の授業づくり研修講座」の講師として本館集会室にて講義(平成25年7月24日)。

(11) 財団法人大師会の役員会へ参加(計4回)、また講演会に学芸員を講師として派遣(平成26年2月5日)。

(12) 東京美術倶楽部の依頼により、講演会に学芸員を講師として派遣(平成25年5月11日、6月15日、7月13日)。

(13) サンリツ服部美術館の依頼により、学芸員を調査および講演会講師として派遣(平成25年10月21日)。

(14) 公益財団法人徳川ミュージアムの依頼により、学芸員を調査(平成26年2月26日、27日)および文化財修復助成事業選定委員に派遣(平成25年5月14日)。

- (15) 日本博物館協会の依頼により、『博物館研究』編集委員会、『博物館研究』座談会「今、博物館団体に求められる底力」に参加(平成 25 年 9 月 10 日、10 月 30 日)、および「美術品取扱技術等にかかわる調査研究」の委員として派遣(計 4 回)。
- (16) 科学研究費助成事業(基盤研究(B))「タイにおける異文化の受容と変容 ―13 世紀から 18 世紀の対外交易品を中心として―」(課題番号 24401020 研究代表者:原田あゆみ)に係る調査として、学芸員をバンコク国立博物館他に派遣(平成 25 年 11 月 5 日～10 日)。
- (17) 跡見学園女子大学マネジメント学部の依頼により、インターンシップの学生1名を受け入れた。
- (18) 第 60 回日本伝統工芸展(全国 12 都市にて開催:会期 平成 25 年 9 月～平成 26 年 3 月)奨励賞に協賛。
- (19) 世田谷区のセント・メリーズ・インターナショナル・スクール学園祭に協賛。
- (20) 財団法人せたがや文化財団理事会への参加(2 回)。
- (21) 『世田谷区文化財調査報告集 23「古経楼・富士見亭の建築と意匠―五島美術館 古経楼・富士見亭修理工事報告書」』の作成に協力。
- (22) 高梨文化財団評議員会に職員を派遣(平成 25 年 6 月 13 日)。

13. 学会・研究会

- (1) 茶の湯文化学会を別館講堂にて開催し、研究成果を発表(平成 26 年 1 月 25 日)。
- (2) 美術史学会、東洋陶磁学会、漆工史学会、茶の湯文化学会、全国博物館学会、全国美術館会議、全国博物館館長会議、私立美術館会議(以上大会出席)
- (3) 日本貿易陶磁研究会研究集会、茶書研究会、日本書道史研究会、墨蹟研究会、画賛研究会、Queen Sirikit Museum of Textiles (タイ) 主催シンポジウム「Weaving Royal Traditions Through Time」に参加

[2] 大東急記念文庫事業

1. 図書保存

- (1) 収蔵庫内の参考書誌、図書資料等と和古書との分離収納作業を行った。
- (2) 所蔵資料の保存状態を調査し、修理・補修リストに記載した。
- (3) 庫内に適度の防虫剤を施した。また防塵、除湿、防災には万全を期した。

2. 図書収集

- (1) 閲覧参考資料
「人物叢書」等を継続購入中である。
- (2) 出版文化史参考資料
本年度は購入しなかった。
- (3) 古典籍参考資料
本年度は購入しなかった。

3. 図書調査

国文学研究資料館・国立国会図書館・石水博物館等の資料調査を行った。

4. 図書閲覧

(1) 個人閲覧

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
開館日数		21	24	22	24	0	15	23	26	16	23	20	26	240 日
閲覧者数		0	17	6	16	2	8	4	6	15	3	14	11	102 人
閲覧図書	国書	0	489	12	76	12	16	2	17	42	10	27	16	719 点
	漢籍	0	0	0	0	9	0	2	0	13	0	4	6	34 点
	仏書	0	29	1	0	2	3	6	11	7	2	25	9	95 点
	その他	0	1	0	0	0	2	0	0	2	0	0	8	13 点
計		0	519	13	76	23	21	10	28	64	12	56	39	861 点

(2) 団体閲覧

- ・4月 延慶本平家物語研究会(1点／於閲覧室) 6名
- ・9月 慶応大学・上智大学学部生及び院生(46点／於集会室) 19名
- ・10月 五山版研究会(2点／於閲覧室) 5名
- ・12月 韓国高麗大蔵経研究所(27点／於閲覧室) 4名

5. 出版物の編集・刊行・頒布・委託出版(主なもの)

(1) 頒布

- ・機関誌「かがみ」第 44 号
- ・『典籍逍遙—大東急記念文庫の名品』
- ・公開講座講演録

(2) 委託販売

- ・大東急記念文庫善本叢刊中古・中世篇(汲古書院)継続刊行中。
平成 25 年度は、第 23 回配本「伊呂波字類抄3」、第 24 回配本「諸芸Ⅱ」、第 23 回配本「伊呂波字類抄4」を刊行。
- ・大東急記念文庫善本叢刊近世篇(全 18 巻別巻 1 巻)(汲古書院)
- ・大東急記念文庫所蔵『芥子園画伝』初集・二集・三集(勉誠出版)
- ・マイクロフィルム版「江戸文学総瞰」「物語文学総瞰」(雄松堂書店)

6. 普及

(1) 出版物受贈(主なもの)

- ・『皇室制度史料 儀制 成年式三』 1 冊(宮内庁書陵部)
- ・『岩崎文庫貴重書書誌解題Ⅶ』 1 冊(東洋文庫)
- ・『武田科学振興財団設立 50 年史』 1 冊(杏雨書屋)
- ・『漢文訓讀史の研究Ⅴ』 1 冊(小林芳規氏)

(2) 図書資料撮影、掲載、出版、翻印等許可

- ・各種団体
東京都東部公園緑地事務所、釈迦牟尼会等
- ・出版社
NHKエデュケーショナル、NHK大阪放送局、NHK知財展開センター、朝日新聞出版、笠間書院、学研教育出版、東京堂出版、勉誠出版、臨川書店等
- ・個人
研究者等6名

7. 展示

(1) 他所への貸出

- ・奈良国立博物館……………「南都巡礼記」／計 1 点
「當麻寺—極楽浄土へのあこがれ—」展(期間=平成 25 年 4 月 6 日～6 月 2 日)
- ・サントリー美術館……………「画学斎過眼図藁」／計 1 点
「生誕 250 周年 谷文晁」展(期間=平成 25 年 7 月 3 日～8 月 25 日)

(2) 五島美術館への出陳

・[館蔵]春の優品展—和歌の世界—

……………「集外歌仙」・「人丸集」・「定家八代抄」・「源氏物語奥入」ほか／計 12 点

・[館蔵]秋の優品展—禅宗の美—

…………… 国宝「六祖挾担図」・重要文化財「寒山図」・「仏国禅師文殊指南図讃」ほか／計 11 点

・[特別展]光悦—桃山の古典—

…「角倉素庵書状 林道春宛」・「光悦書状 極月廿四日付」・「嗟峨本伊勢物語」ほか／計 10 点

・[館蔵]茶道具取合せ展

……………「豊臣秀吉消息 お祢宛」・「武野宗瓦消息」・「茶室起絵図」／計 3 点

8. 国等各種公共機関・団体への協力と職員の派遣

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国文学研究資料館の調査員として、会議に出席、国文学関係資料の調査に協力した